～宮大生のための海外渡航～

台湾夏期英語／中国語・台湾文化研修報告

教育文化学部・研究科　学校教育課程英語専攻　3年　（氏名　黒木凌司）

〇派遣：開南大学

〇派遣期間：　2017 年　8 月　16 日　～　2017 年　8 月　30 日

〇渡航時の学年：　**3** 年次

〇渡日前の手続について

・参加に至った経緯について：

半年前に、台湾の大葉大学で日本語教師インターンをした際に台湾が好きになり、また台湾に行きたいと思ったから。

・渡航に関する手続について：

海外保険

・査証取得：

なし

★体験記：

僕は授業目当てというより、台湾文化の勉強と台湾人と友達になりたくて参加したので、とても充実した研修だった。授業に関しては、英語クラスも中国語クラスも初級～中級程度なので、元々語学力がある人は退屈するかもしれない。ただ、それ以上に得られるものは多かったので、参加してとても良かったと思っている。

〇生活費：

とにかく安い。一食400円あればかなり満腹になる。交通など、特にバスは安い。タクシーは現地の人にとっては高いそうだが、日本人からしてみればかなり安いと思う。移動はタクシーをお勧めする。

〇大学のサポート状況：

学生チューターの他に、大学の担当の方、日本人教授の方がサポートしてくれる。寮には常に学生チューターがいるので、体調を崩しても対応してくれる。

〇授業の様子：

自分は英語のクラスだった。基本的に発音や知っているようで知らない日常会話を教えてくれる。

〇他の留学生たちの様子：

日本各地の開南大学の協定大学から来ていた。人数は 70 人程度だった。皆フレンドリーなのですぐ仲良くなれると思う。在学中に長期留学したいと思っている人も多かったので、留学希望の学生同士で色々話せるので良いと思う。

（宮崎大学からの参加者）

（仲良くなった静岡大学、岡山大学の学生との写真）

〇現地学生との交流:

学生チューターのほとんどが、日本に留学予定または留学経験のある学生ばかりなので、日本

語能力が高く、とても仲良くなれた。本当に大丈夫なのかなと思うくらいおもてなしをしてくれる。自由時間には台北に一緒に遊びに行ったり、学外研修の際の移動中や研修中に一緒に色々なことを経験した。日本人観光客が多い場所ではなく、現地の人しか知らない夜市などに連れて行ってもらえたことが、僕にとっては一番嬉しかったし、参加してよかったと思える点だった。

（十份で台湾人学生ととった写真　※線路立ち入り OK の場所です）

〇街の様子：

大学は台北から1時間、桃園空港から 20 分ほどの場所にある。日本で例えるならば、千葉県のようなところでベッドタウンとしての印象が強い。なので、大学の周りは落ち着いた雰囲気であった。台北までのアクセスも悪くないので、遊ぼうと思えば全然遊べると思う。また、大学の周りにはコンビニが 3 軒程度あるので、夜に小腹が空いたら買いに行ける。美味しい牛肉麺のお店もあるので食には困らない。

台湾はバイクも多く、日本のように歩道が整備されているわけではないので、歩くときには注意が必要（慣れれば全く問題ない）。

〇その他：

寝る場所はあっても、布団は無いので日本から寝袋を持参するか、現地で簡易マットレスを購入した方が良い。自分は日本から寝袋、現地で枕を購入した。寝袋を持参するのは荷物にもなる上、現地でマットレスを購入しても 400 元（1500 円くらい）なので現地で買った方がいいと思う。二週間キツキツのスケジュールで遊びに遊ぶので体調を崩す学生が多かった。なので風邪薬等は持参した方が良い。

〇今後、海外渡航を希望する宮大生のみなさんへ

台湾は本当に良いところです。物価も安く、食べ物も美味しいです。親日国家と良く聞きますが、本当だと思います。学生チューターだけでなく、飲食店のおばちゃん、バーのお兄さんやお姉さんなど、老若男女皆が優しく親切に接してくれます。見た目も同じアジア人なので、アウェー感は全く感じません。僕は将来台湾で働きたいくらいです。

留学＝英語圏といったイメージが強いかもしれませんが、台湾は日本から近く、そして中国語圏なので、中国語を勉強したいなら台湾留学を是非お勧めします。

僕は今回三年生でこの研修に参加しましたが、留学したいけど迷っている一年生や二年生にオ

ススメします。海外に二週間自分の身を置いて、日常では感じとることのできない雰囲気や景色を肌身で感じとってみてください。